



とも たの 偕に楽しむ

令和3年度定期総会 万全な感染防止対策のもとで開く

今年度の定期総会は、4月20日に県立歴史館講堂で開催されました。新型コロナウイルスのため中止した昨年につき、今年も中止するのは会の存続にも影響するとの危機感から、できる限りの感染防止策を取りながら開催いたしました。座席は収容人数の半数以下に抑え十分な間隔を取り、53名の参加者全員にマスク着用、検温、手指消毒を徹底し、入場していただきました。林和男副会長の司会で定刻に始まった総会は、湊正雄会長と来賓の高橋靖市長のご挨拶をいただいた後、議事に入りました。



総会参加の会員

第1号議案令和2年度事業報告及び第3号議案令和3年度事業計画の各委員会関係につきましては、元年度総会時にご指摘いただいた時間節約の件を反映し、事務局から一括して説明をする方式が取られました。結果は、全議案について滞りなく承認され議事は終了しました。



漫沢栄一を熱く語る永井博先生

はじめに

引き続き、講演会が歴史館特任研究員永井博氏を講師に「渋沢栄一と水戸藩」の演題で行われました。放映中のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公渋沢栄一について、幕末期の運命的な人生の分かれ道や水戸藩との関係等についてお話が展開され、会員の皆さんは大いに興味をそそられた様子でした。

県・水戸市内の学校に「偕楽園なんでも百科」を贈呈 教育の場での活用期待

「偕楽園なんでも百科」改訂版第3刷の発行は、編集委員会(小堀優委員長)において十分な内容の検討を重ね、小学生にも読んでもらえるよう全文ルビを付すとともに偕楽園記の読み下し文と一部QRコードが取り入れられました。印刷費については「いばらき文化振興財団」助成金交付対象事業となり、約半額の助成を受け4,500部印刷することができました。偕楽園の魅力を中心に小・中学生に知ってもらい次世代へつなげてもらいたいという発行の目的のとおり、水戸市内の小・中学校96クラス分3,130冊及び水戸市以外の県内小学校に各2冊計910冊を県教育長、水戸市長をとおして贈呈しました。偕楽園の魅力再発見につながるよう願うばかりです。

事務局長 後藤克己

「偕楽園なんでも百科」改訂版第3刷の発行は、編集委員会(小堀優委員長)において十分な内容の検討を重ね、小学生にも読んでもらえるよう全文ルビを付すとともに偕楽園記の読み下し文と一部QRコードが取り入れられました。印刷費については「いばらき文化振興財団」助成金交付対象事業となり、約半額の助成を受け4,500部印刷することができました。偕楽園の魅力を中心に小・中学生に知ってもらい次世代へつなげてもらいたいという発行の目的のとおり、水戸市内の小・中学校96クラス分3,130冊及び水戸市以外の県内小学校に各2冊計910冊を県教育長、水戸市長をとおして贈呈しました。偕楽園の魅力再発見につながるよう願うばかりです。

「偕楽園なんでも百科」改訂版第3刷の発行は、編集委員会(小堀優委員長)において十分な内容の検討を重ね、小学生にも読んでもらえるよう全文ルビを付すとともに偕楽園記の読み下し文と一部QRコードが取り入れられました。印刷費については「いばらき文化振興財団」助成金交付対象事業となり、約半額の助成を受け4,500部印刷することができました。偕楽園の魅力を中心に小・中学生に知ってもらい次世代へつなげてもらいたいという発行の目的のとおり、水戸市内の小・中学校96クラス分3,130冊及び水戸市以外の県内小学校に各2冊計910冊を県教育長、水戸市長をとおして贈呈しました。偕楽園の魅力再発見につながるよう願うばかりです。

偕楽園公園の魅力向上を願って

県・市との懇談会 本年度も引き続き開催

昨年度県から発表された「偕楽園公園魅力向上アクションプラン」の内容精査と進捗確認等を目的として、当会は今年度も積極的に県や市と情報交換を行っています。今年度はコロナ禍が落ち着いた状態が続いていますので、一同に集まっての懇談会は行えず、当会代表者がそれぞれ関係各部署を訪問して情報交換を行いました。具体的には、まず6月11日に県都市整備課、6月21日に市公園緑地課を訪問し、これまでの進捗と令和3年度の予定などをヒアリングしました。県は有識者による景観検討部会を立ち上げ、主に景観についてのガイドラインを作成するとの話でした。景観検討部会には当会から湊会長が出席して、7月14日、9月1日に開催されています。当会の活動としては、その後、景観検討部会の結果等も踏まえて、役員会、魅力向上委員会で会員との意見交換、また造園業者や歴史文化に詳しい先生方との意見交換を行い、8月5日、8月19日、9月10日に県都市整備課を訪問し、景観ガイドラインさらには左近の桜の植栽地について、当会の考えを説明しました。しかし、当会の考えが十分に理解されたとはいえず、今後も積極的な対話が必要と考えています。景観ガイドラインは11月頃には文書で公開される予定です。



水戸市と懇談する湊会長と会員

「偕楽園公園魅力向上アクションプラン」では、自然・景観さらには歴史文化を損なうと思われる整備・開発が予定されています。当会が特に注視しているのは、左近の桜植栽の他、東門からの石張園路、好文亭西塗縁広間での飲食サービス、拡張部月池付近の新しい建造物などです。当会としては、積極的に会員との意見交換を行い、偕楽園公園の歴史的・文化的価値を守り次世代に伝える活動をしていきます。会員の皆様の協力をお願いします。

魅力向上委員会 三ッ石 敏

水戸市主催の世界遺産登録推進フォーラムに参加して

今後の会の活動の指針に

7月10日(土)、水戸市総合教育研究所の多目的ホールにおいて、世界遺産登録推進フォーラム「近世日本の教育遺産群を世界遺産に」が開催されました。当日は、平成27年に「日本遺産-近世日本の教育遺産群」に認定され、現在世界遺産登録を目指して活動中の水戸市の高橋靖市長をはじめ、足利市(足利学校跡)、備前市(旧閑谷学校)、日田市(咸宜園跡)の4市長や専門家が出席し、貴重な報告や提言がなされました。

フォーラムの前半は、松浦晃一郎氏(元国際連合ユネスコ事務局長)、橋本明彦氏(国立教育政策研究所教育政策・評価研究部統括研究官)の二氏による基調講演、後半は二氏を含む専門家7人によるパネルディスカッションが開催されました。パネルディスカッションでは、世界遺産登録へ至る道筋や、実現に向けての



パネルディスカッションに登壇した専門家の先生方

各市の活動状況、登録に際しては、もの(現存する建物、遺跡など)として説明できるためには、そこに普遍的な価値を見出させることが大切で、そのための普段の努力が必要なことなどが唱えられました。

フォーラムの参加をとおして、私たちがなぜ偕楽園や弘道館を大切にし、次代に繋ぎ伝えていかなければならないか、改めて実感した研修となりました。

広報研修委員会 林 和男

活動報告

リニューアル3年目「弘道館 やさしい論語塾」

論語委員会

今年度も、昨年と同様、講師は安岡定子先生、小坏的り子先生、小堀優先生方です。会場は、新型コロナウイルス対応のため、弘道館での定員は18名です。4月3日の開講式には、高橋靖水戸市長から来賓の挨拶をいただき、私たちの今後の活動の励みになりました。

一方、特別講師の安岡先生の授業には、多くの受講生に参加していただきたいとの思いで県水戸生涯学習センター大講座室60名を予約しました。実施は4月から12月まで毎月1回第1土曜日10時30分～11時30分とし、多くの方に平等に参加いただくため事前申込み制にしました。結果、例年以上に熱心に参加いただいています。授業では、講師の解説と受講生の音読があり、特に子供たちには一人ひとり音読をしてもらい、授業を楽しんでおります。論語塾は7月まで4回の開催を数えましたが、8月以降は、新型コロナウイルス感染の全国的な拡大により県、国の緊急事態宣言が発出され、8月・9月が休講になりました。一刻も早いコロナの収束を願っています。



安岡定子先生



小坏的り子先生



小堀優先生

春のウォーク実施 楽しみながら新しい発見も

魅力向上委員会

令和3年度、偕に楽しむ春のウォークは5月23日(日)、29名の参加をもって実施されました。午前10時前に三の丸庁舎駐車場をスタート、復元された大手門などでクイズを解きながら水戸学の道を進み、水戸駅北口、東照宮を回るコースを歩きました。岡野・田口歴史アドバイザーボランティアの説明を聞きながら、駅北口ペDESTリアンデッキからは、新しく復元された二の丸角櫓を望み、新装なった東照宮へと歩を進めました。普段見慣れている景色も街中の動きも、皆さんと一緒に歩いてみると味わいも新しい発見もあり、充実した春のウォークでした。



水戸学を学べた春のウォーク



暑さに負けずに頑張りました。

花パートナー活動 暑さやコロナに負けずに頑張りました。

東京オリンピックが開催され、新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、花パートナー活動は、雑草の伸びる時期でもあり、7月・8月と熱中症対策にも細心の注意を払いながら活動しました。草いきれいの中、給水をまめに取りながら雑草と戦いました。

季節の移り変わりを楽しめる朝活ヨガとポスチャーウォーキング

偕楽園公園 窈窕広場で朝活を始めてから丸3年を迎えました。「気持ちよく運動が出来て健康の有難みを感じる」「季節の移り変わりが感じられてリフレッシュできる」など、嬉しいお声をいただきました。この活動による心身の健康作りが定着してきたのを感じています。



清々しい朝の空気を味わいながら

これからの活動計画

交流委員会－紅葉狩りウォーク&偕に楽しむつどいは11月21日(日)に開催!



歴史館のイチョウ並木は必見です

昨年より新型コロナウイルス感染症の影響により、いろいろなイベントが中止に及んでいますが、昨年の「偕に楽しむ集い 紅葉狩りウォーク」は、参加人数の制限をさせていただき、何とか実施にこぎつけました。ご協力ありがとうございました。10月11日の時点では、全国はもとより水戸市の新型コロナ感染者数は大幅に減少しています。このような状況を鑑み、今年も本行事を十分な感染対策をとった上で開催いたします。歩くコースは、偕楽園公園内を巡り、歴史館のイチョウや旧水海道小学校を見学し、もみじ谷に戻るルートです。歴史館のイチョウ並木は雑誌「Trip Editor」にも取り上げられている隠れた鑑賞スポットです。奮ってご参加ください。

論語委員会－やさしい論語塾は10月から再開しています

残念ながら8月(安岡先生)、9月(小堀先生)が休講になりましたが10月から開催しました。講師の先生方をはじめ担当機関や多くの方々のご協力に感謝です。後半も弘道館を会場に小塚・小堀先生を講師に10月2日・11月6日・12月4日に実施します。安岡先生の講座が12月18日(土)茨城県立歴史館講堂を会場に実施できるようになりました!

魅力向上委員会

－花パートナー 年中花と緑の花壇づくり一緒に楽しみませんか!

来年度にも向けて、市民や観光客の皆さんに楽しんでもらえるよう、また花壇づくりをずっと継続して行くことも考えなくてはなりません。そのために若い会員とともに偕楽園公園の魅力や歴史を共に学び、実感し合うことが大切です。その他作業を月2回に増やしたらどうかと計画しています。

－紅葉も楽しめる朝活ヨガとポスチャーウォーキングにぜひご参加ください。

毎月第3土曜日、窈窕広場にて6時半から約1時間、前半はウォーキング、後半はヨガを行います。日差しが強い時期は木陰でヨガをしたり、紅葉の時期はもみじ谷を歩いたり天候や季節に応じて行います。参加費、予約は不要です。お気軽にご参加ください。

研修広報委員会－会員研修(講演会)を11月28日(日)に開催します。

水戸市が現在進めている世界遺産登録の取り組みの現状についてより理解を深めるとともに、偕楽園・弘道館について会員の皆様の知見を高めることを目的に開催します。講師は水戸市教育委員会歴史文化財課世界遺産登録室世界遺産係長の藤尾隆志氏。開催は11月28日(日)13時30分～15時00分、会場は水戸市国際交流センター3F多目的室です。新型コロナウイルス感染症の状況によっては延期・中止する場合があります。

編集後記

東京オリンピック2020の開催も危ぶまれるなか、無観客という異例な状態の開催になりました。テレビ観戦ではありましたが、選手たちの白熱した競技に、国民はコロナ禍の落ち込んだ気分をいっくらでも奮い立たせたのではないのでしょうか。私たちの会でも、延期、あるいは中止、人数制限、などの工夫を凝らしながら、活動してきました。先の見えない現状ですが一歩でも前に進む努力を続けてまいります。

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒310-0845 水戸市吉沢町2-22 TEL/FAX：029-247-0438

発行日：令和3年10月 発行：偕楽園公園を愛する市民の会

協力：(株)ロシナンテ ※誌面に関するお問い合わせは事務局まで